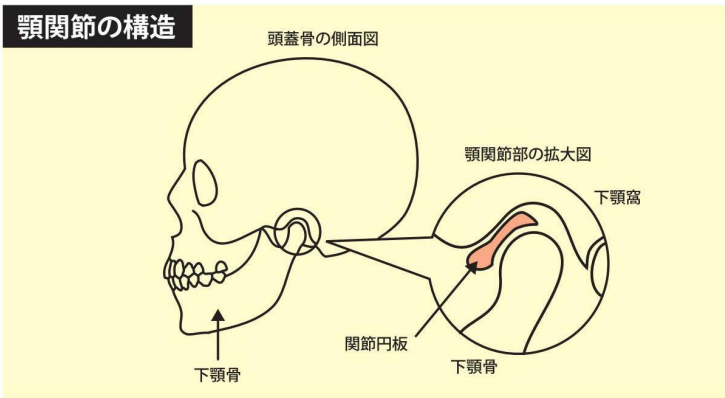


顎関節症の治療や、かみ合わせの改善を

顎関節治療

顎関節症とは

顎関節は、左右に1つずつあり、頭の骨(側頭骨)に、下顎の骨の上部(下顎頭)が入り込む構造に



なっています。骨と骨の間には「関節円板」という線維性の組織があります。顎関節は、口の開閉や、顎を前後左右に滑らかに動かすために、重要な役割を担っています。

顎関節症とは、顎関節の周囲に何らかの障害が生じる病気で、近年患者が増加しています。「顎を動かすと痛い」「口を大きく開けられない(開口障害)」「口を開閉すると音がする(関節雑音)」「かみ合わせの違和感」などが、顎関節症の主な症状です。患者によって、症状が1つのこともあれば重複することもあります。

複数の要因が絡み合っただけで発症

顎関節症の要因としては、歯並びやかみ合わせの異常、歯ぎしり、歯を食いしばる癖、あごを動かす癖などの他、ストレスによるものなどが、それらが複雑に重なり合っただけで発症すると考えられています。また、「うつ伏せに寝る」「ほ

東京



医療法人社団 星陵会
千代田ファーストビル歯科
— Chiyoda First bldg. Dental Clinic —

正確な診断に基づく治療で理想的な咬合を

当院では、「生涯にわたる口腔機能の維持」を目標として、日々の診療を行っております。なかでも咬合が全身に与える影響を考慮し、補綴治療では患者さんごとに現状で最善と考えられる咬合形態の回復に努めています。顎関節症は、かみ合わせの異常・歯ぎしり・歯の食いしばり・生活上のストレスなど複数の要因が絡み合っただけで起こる疾患と考えられています。当院では、顎関節症の治療に際しては、まず開口距離の測定や触診及び、3次元画像検査を行って症状の把握を行います。そしてこの診断結果に基づき、飲み薬、スプリント療法、トリガーポイント療法、低周波治療、関節可動化訓練などの治療を行っていきます。顎関節症では生活上の色々な因子が症状に関係するため、患者さん自身がセルフマネジメントする姿勢を持つことも大切です。このサポートが十分行えるよう、当院では日頃から対話を重視し、患者さんが相談や質問しやすい雰囲気作りをスタッフ全員で心がけています。

【診療時間】月～金 9:30～19:00 土 10:00～17:00
【休診日】日・祝

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-2
千代田ファーストビル東館1F
TEL.03-3261-0025
http://www.chiyoda1st.com/
【問い合わせ】 info@seiryokai.com
【セカンドオペニオン】 second-op@seiryokai.com
顎関節治療は基本的に保険診療で行っております。



院長 平 健人

おづえをつく」「姿勢が悪い」など、日常生活の習慣や癖なども、顎関節やあごの周囲の筋肉に負担がかかりやすくなり、顎関節症の発症に影響を及ぼすと考えられています。自分の生活習慣や癖を見直し、顎関節症につながるような要因が多い場合はそれらを意識して修正するように心がけるとよいでしょう。

顎関節症の検査と治療

顎関節症には多様な原因があるため、治療法もその原因に対応し

たものを選択する必要があります。そのためには正確で適切な診断が重要となります。

顎関節症が疑われる場合はまず、問診のほか、開口距離の測定、触診、画像検査などの検査を行い、その結果から総合的な診断がなされます。そうした適切な診断に基づいて、治療については薬物療法、スプリント療法、理学療法、運動療法のほか、重症例には外科手術が検討されることもあります。

気になる症状があれば経験豊富な医療機関に相談してみるとよいでしょう。

文/山本司